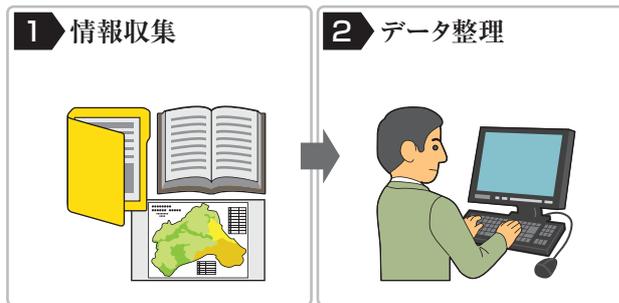


病虫害・鳥獣害・気象害の被害状況調査(資料調査)

既存資料等を利用し、病虫害・鳥獣害・気象害による被害状況を調査する。



手順概要



方法と留意点

1 情報収集

対象保護林の現況を把握するため、前回の調査以降に行われた資料(調査結果)を収集します。「A. 森林タイプの分布等状況調査(資料調査)」で作成した「保護林情報図」と照らし合わせ、必要な調査地点の資料を入手します。主な資料の入手方法と調査対象とする項目は以下のとおりです。

森林生態系多様性基礎調査※

(入手方法)

国有林野内で実施された調査地点の情報については各森林管理局の計画課、また保護林に隣接する民有林部分については林野庁計画課(あるいは各都道府県の森林部署)で管理されているため、問い合わせで確認します。

※平成21年度まで、「森林資源モニタリング調査」として実施

(調査対象項目)

- 「様式3-1立木調査表」
- 「様式3-2立木調査総括表」

病虫害・鳥獣害・気象害に関する対策・防除事業等の資料

(入手方法)

森林管理局又は森林管理署、都道府県の病虫害等防除事業等担当部局や各地の林業試験場等に問い合わせで確認します。

捕獲記録等の資料

(入手方法)

各都道府県及び市町村の鳥獣対策関連部署(例:北海道エゾシカ対策課や高知県鳥獣対策課等)に問い

合わせて確認します。

(調査対象項目)

- 狩猟鳥獣の捕獲記録 (特に、近年野生鳥獣の被害が出ている地域については、シカ・イノシシ・サル等による被害の情報を収集します。)

2 データ整理

① 病虫害等の発生状況調査整理表の作成

前項で収集した資料を様式に整理します。(様式31)

② 病虫害等被害データの作成

病虫害等被害情報をGISデータとして整理した上で、「保護林情報図」に追加します。位置が大まかにしか分からない場合は、おおよそのエリアを図示します。また、必要に応じて拡大した図面を整理します。(様式30)

③ 調査資料の整理

収集した調査資料はできるだけデジタルデータとして整理します。調査資料名が分かるよう、様式に整理します。(様式5)

留意事項

- ① 調査によって、調査手法や調査対象が異なることがあるため、必要に応じて調査手法等を様式の備考に記入します。(様式5)

※なお、モニタリング結果について、結果概要、評価・課題等を分かりやすい形で整理するため、総括整理表を作成します。(様式37または様式38)

GIS データとして整理する調査データの例

調査データ	ファイル名(例)	ファイル形式	属性情報	対応する様式
病虫害等被害情報	病虫害等被害情報_荒尾山モミ希少個体群保護林	シェープファイル(ポイント、ライン、ポリゴン)	• 被害区分 • 整理番号	• 様式30